



今年度初の…

6月17日(月)から2日間の日程で定期テストⅠ(1学期期末テスト)が行われます。中学校のテストは、小学校のテストと次の点が違います。

①評価・評定に関わること
→ということは、高校入試にも関わってくるということです。

②ほぼ全ての教科で実施
→国語、社会、数学、理科だけでなく、英語や音楽、保健体育、技術家庭でも筆記試験を行います。

各学年の学活では、テスト2週間前に「テストに向けた取組計画」を作成し、見通しをもってテスト勉強に取り組む指導をしています。

ぜひご家庭でも話題にしていただき、叱咤激励の程よろしくお願いいたします。



今回のテーマ 定期テスト (1学期期末テスト)

なぜテストがあるのか？

「学校は学習をする場である」。これは、幼稚園から大学まですべてのところで当てはまります。当然、学ぶということは自分自身に身につけていなければなりません。テストとは、その定着度を確認する機会なのです。

2・3年生はもう承知しているでしょうが、中学校のテストは小学校のテストに比べて難易度が高くなっています。それは、学ぶ内容がレベルアップしているからです。だからこそ、小学校とは違い「家庭学習」や「学び方」もレベルアップしていかなければなりません。あなたはレベルアップできていますか？レベルアップできていないのであれば、対処方法を考え、実践しましょう。先生方に聞くのはもちろんですが、先輩や家族に聞いてみるのも有効な手段です。

「わからないところをそのままにしておく」。これは、大人になっても非常にまずいことです。だからこそ、今から質問する癖をつけて、テストに向けてモチベーションを上げていきたいですね！



わたしの学習方法を紹介します！

第3号と第4号では、先生でもあり、人生の先輩でもある先生方から、中学生時代の学習方法を伝授してもらいます。今回は、■■先生です。



●得意教科について

(当時の得意教科：社会(地理)、音楽、技術)

基本的に語句の暗記でした。ただ暗記してもおもしろくないので、仲間とクイズを出し合ったり、いくつ覚えたか競争したりしていました。「得意=好き」だったので、苦手教科を放置しないように注意していました。

●苦手教科について(当時の苦手教科：国語、数学、社会(歴史)、英語)

国語は、文章問題が苦手だったので、漢字や古文を中心にくり返し復習しました。国語の先生にはよく目をかけてもらっていたので、わからないところは必ず質問しにいきました。

数学や英語もたくさん問題をくり返し取り組みました。実は、分からないけど仲間に教える機会があったんですが、教えているうちに自分でも理解できるようになったんです。みなさんもお試しあれ！(歴史は放置していました…)